

西彼保健所感染症情報

令和7年 第 23 週 令和7年6月2日 ～ 令和7年6月8日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 (県作成速報：診断日週掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	【第23週】結核 患者 (80代・女性)
三類感染症	報告なし
四類感染症	【第23週】日本紅斑熱 患者1名 (50代・女性)
五類感染症	【第23週】百日咳 患者5名 (10代・女性4名、70代・女性1名)

定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 (定点医療機関当たり患者数)

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベ ル				警報レベル		注意 報レベ ル
	22 週	23 週	開始	終息			開始	終息			
インフルエンザ定点	1.00	0.20	30	10	10	突発性発しん	0.33	0.00			
COVID-19	0.80	0.60				ヘルパンギーナ	0.33	1.33	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	90.60	85.80				流行性耳下腺炎	0.00	0.33	6	2	3
R Sウイルス感染症	0.33	0.33				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	1.00	2.67	3	1		流行性角結膜炎	1.00	1.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.67	3.67	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	6.67	7.00	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	2.00 警報	2.33 警報	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	0.00	2.00			
手足口病	0.00	0.00	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	1.33	1.00	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

咽頭結膜熱(プール熱)が3週連続で急増しています。

ヘルパンギーナが増加傾向です。

咽頭結膜熱やヘルパンギーナを起こすウイルスには消毒用エタノールの消毒効果は弱いので、予防としては日頃から密接な接触を避けること、こまめに流水と石鹸による手洗いをおこなってください。

蚊が活発に活動する時期です



- 病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症があります。
- 主な蚊媒感染症には、ウイルス疾患であるデング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、日本脳炎、ウエストナイル熱、黄熱、原虫疾患であるマラリアなどがあります。これらの感染症は主に熱帯、亜熱帯地域で流行しています。
- 日本においては日本脳炎以外の蚊媒感染症は海外からの輸入感染症としてみられています。デング熱に関しては2014年に国内感染例が報告されました。



<蚊による感染症の予防のポイント> 蚊に刺されないような予防対策をとりましょう。

- ①屋外の水溜りを減らし、**ボウフラの発生を防ぎ**ましょう。
- ②長袖、長ズボンなど、**肌の露出を少なく**しましょう。
- ③**防虫スプレー**を使用しましょう。
- ④**網戸**を閉め、蚊が家の中に入らないようにしましょう。



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル

※長崎県では日本脳炎の流行予測を目的として、毎年(原則)7月から9月の間に日本脳炎ウイルスの増幅動物であるブタのウイルス感染状況を調査しています(諫早市のブタ10頭×8回)。

例年、ブタからの日本脳炎ウイルス抗体の検出またはウイルス検出に基づき、注意喚起情報をお知らせしています。2024年の調査では、長崎県は6月上旬の調査で既に80%以上が抗体陽性となっています。

ブタの日本脳炎抗体保有状況－2024年度速報第10報 (国立健康危機管理研究機構ホームページ)